



17 友遊サロン

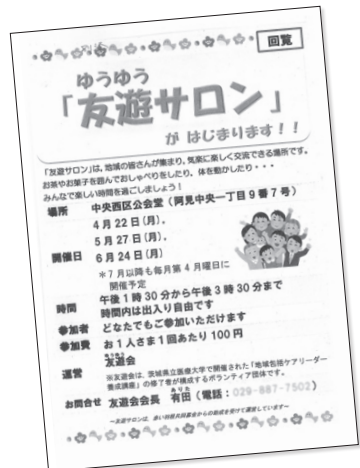
サロン運営団体 友遊会



17 阿見町



開催日及び開催頻度	
月1回(第4月曜日)	
13:30~15:30	
開催拠点	
地区の公会堂	
代表者氏名	
有田 宏二	
1回の参加人数	
25名	
参加費(1人1回あたり)	
100円	
広報方法	
●チラシ(随時)	
●社会福祉協議会広報誌(随時)	



開催地域の様子

- 文京地区(大学、町役場、小中学校等)商業地区(スーパー、郵便局、農協、個人商店等)住宅地区等約400戸の中央西自治会がありますが、新たに転入してくる住民も多く、都市化の影響が住民の高齢化、一人暮らしの高齢者も多く、住民同士の交流が少なくなってきました。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 私達は「県立医療大学」の「地域包括ケアリーダー講座」の終了者で構成しています。学んだことを地域に還元するべき活動を継続して行きたいと考えています。将来は阿見町全体に拡大して住み良い健康な阿見町にしたいと考えています。

サロン運営上の協力者

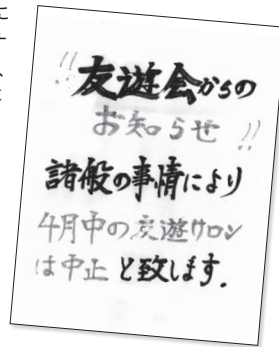
- 県立医療大学
- 自治会
- 社会福祉協議会
- 民生委員
- 町議会委員 など

連携先・協働先

- 自治会は公会堂の無償使用(電気・水道含む)住民への広報活動等の支援していただいています。
- 社会福祉協議会は、サロンの立ち上げから運営まで、丁寧に支援をしていただいています。
- 県立医療大学からは、組織の運営指導、運動機器の貸与、参加者等への体操の指導や健康管理、ゲーム指導等の支援を職員、学生の応援を頂いています。

コロナ禍でのサロン活動について

- サロン活動も軌道に乗ったところで、残念ながら、一旦中止となりました。当面、会員は2ヶ月に一度、定例日に集合して、情報交換等のコロナ禍対策について話し合いをしています。
- 10月22日、県立医療大で行われた、地域包括ケアリーダー研修終了式に参列し、サロン活動紹介等のPR活動を行いました。
- 今後のサロン活動については、コロナの状況を見ながら、できるだけ早く再開する方向で考えています。



運営費の確保方法

- 社会福祉協議会からの助成
- 参加者からの参加費
- 会員の自己負担

サロンのウリ

- 講習を通じて、会員がサロン活動に理解が深いです。
- 大学の職員、学生は常に参加していただき、茶話会等の輪の中に積極的に入ってもらい参加者の話題に耳を傾けてもらっています。(若いパワーをもらっている)職員は、関心事の高い健康相談、指導をいただき、サロンが盛り上がり、笑いが絶えません。



- ◆助成金の活用によりパワーアップした活動
- ◆サロン活動で使える豆知識
- ◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

- 今まで、会員の負担で行っていた講師の謝礼、ゲームの賞品の購入、印刷代、資材の運搬費等が、助成金の活用により、支出することができ、運営に自信がつけました。
- 一步踏み込んだ时候の説明、社会の関心事の高い知識、健康志向の高い体操(具体的な身体の筋肉等の動き、説明、脳トレ)の豆知識の関心が高かったです。
- 来館時の参加者の明るい笑顔、会話(機会、場所の提供することにより)、真剣なゲーム実施中の会話、団結心の向上等に接して、やりがいを感じ、会員も連帯感が強まりました。